

●研究テーマ・機関などの概要

スペインのバルセロナ市において、バルセロナ大学の Jaume Trilla 教授およびバルセロナ自治大学の Xavier Ucar 教授のアドバイスを得ながら、「社会教育（学校外教育）」および「社会文化アニマシオン Animación sociocultural（以下 ASC と略す）」の研究をおこなった。また Jaume Trilla 教授の紹介で、「社会文化アニマシオン（ASC）」の視点を活かした取り組みとしての「子ども参加のまちづくりの実践」（Sant Feliu de llobregat 市）についての調査をした。

● 教育・文化を広く捉える「社会文化アニマシオン」概念の研究

スペインにおける教育学理論は、教育現象を社会問題や文化とのかかわりで広い視点から捉えようとする意識が強いのが特徴である。バルセロナ大学教育学部の Jaume Trilla 教授は、社会教育（Educación Social）が専門であるが、『学校外教育と余暇の教育学（La educación fuera de le escuela, pedagogía del ocio）』、『非定型教育（La educación informal）』、『別の教育—社会文化アニマシオン、成人教育、都市の教育（Otras educaciones Animación sociocultural, formación de adoltsos y ciudad educativa）』など著書を精力的に出版して、学校教育（定型教育=educación formal）の相対化を試みている。

教員養成や社会教育の専門職養成の中で、学校教育（定型教育=educación formal）のみならず、それ以外の教育（不定型教育=educación noformal, 非定型教育=educación informal, 自由時間教育=educación tiempo libre）へと教育概念を広げて捉え、さらには「社会文化アニマシオン（ASC）」の概念を重視して、市民生活・社会文化・コミュニティ発展のかかわりの全体構造を視野に入れて＜人間の発達＞問題を捉えようとしている。

バルセロナ自治大学の Xavier Ucar 教授は、スペイン・ポルトガルやイベロアメリカ諸国における ASC 理論を踏まえつつも、先駆的にフランスで深められている ASC の制度化と、イギリスで探求されている Desarrollo comunitario(Community development)実践との統合、さらにはそこに Arte（芸術）分野の実践を組み込んだスペイン独自の新しい概念構成を目指す開拓的な仕事をしている。

現在「社会文化アニマシオン（ASC）」に関する世界的ネットワークが進んでおり、今回 Iberoamérica（中南米とスペイン語・ポルトガル語圏）のネットワークの情報を得た。これらは RIA（①Red Internacional de Animación sociocultural, ②Red Iberoamericana de Animación sociocultural）と言うが、①の中心的人物は、フランスの ASC 研究の第一人者 Jean-Claude Gillet 教授であり、②の中心的人物がサラマンカのポンティフィシア大学の Víctor J. Ventosa 教授であり、両者との研究交流の手がかりを得ることができた。

●子ども参加のまちづくりの実践—「社会文化アニマシオン」理論の具体化

「社会文化アニマシオン（ASC）」の視点に基づいて取り組まれている「子ども参加によるまちづくり」の実践について調査した。バルセロナ圏では、1997 年から近隣の 8 つの町で

その実践が展開されている。そのうちの一つである Sant Feliu de llobregat 市では、市行政の担当者とともにバルセロナ大学の教師 Ana M. Novella が継続的にかかわり、ASC の手法を取り入れながら「子どもの権利条約」の具体化としての participación(参加)理論の研究が行われている。

地域、学校を基盤とした子どもの選挙で選ばれた「子ども委員」が、2年任期で活動を継承しつつ、自主的にまちづくりの課題を市当局に提起する。市長をはじめ市の担当者も真剣に子どもの声を受け止め、提案を具体化する作業に取り組み、公園・遊び場・歩道の整備・街の安全・環境整備など多面的な子ども参加のまちづくりがなされている。もちろん、市政を担う首長や議会のイニシアチブを握る政党の姿勢により、子ども参加の位置づけが変化するので、この実践は必ずしも順調なことばかりではないが、市政運営の方針の中に「子ども参加」をしっかりと位置づけている意義は大きい。

選ばれた「子ども委員」はもとより、子ども参加のしくみの全体が、子どもの「今」を権利主体として位置づけ、学校（定型教育）とは異なる方法での子ども市民の育成が行われている。これら Sant Feliu de llobregat 市の実践の中に、「学校外教育」および「社会文化アニマシオン（ASC）」の理論の具体的展開を見ることが出来た。